

さんま通信



厚生中央病院だより 第60号 2020年

冬



令和2年 新年のご挨拶

院長 櫻井 道雄

新年あけましておめでとうございます。

平成時代に男女ともに平均寿命が5年延長し昨年の平均寿命は男性81歳、女性87歳と過去最高齢を更新しました。働く世代が高齢者や子供世代の面倒をみるのが困難になってきています。人生100年時代と言われ国は「人づくり革命基本構想」にて子供世代への教育の無償充実化、働く世代へのリカレント教育、高齢者世代への雇用促進を打ち出しました。高齢者はフレイルの予防に努め、健康寿命を延ばし社会の中で活躍することが望まれています。これは世界的に広まりつつある高齢者差別（エイジズム）への解消策の一つとも言われています。皆さんも元気で歳をとることに頑張ってください。

厚生中央病院は地域包括ケアシステム（高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで送ることができる地域システム）の中心的役割を果たす病院として高齢化社会に適応した急性期病院を目指しています。また、高度急性期病院やがん専門病院と地域との橋渡し機能を持った病院として地域を支えています。さらに周産期医療にも力を注ぎ、この地域のすべての人々に信頼され頼られる病院を目指し頑張っています。皆様方と一緒にこの地域を元気にしたいと思っていますので、本年度もよろしくご指導のほどお願い申し上げます。



目次 contents

令和2年 新年のご挨拶 1

認定看護師って... 2

MRI装置を更新いたしました！ 4



目黒で野駈けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る！』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

認定看護師って・・・

認定看護師ってどんな看護師？

認定看護師は、高度化が進み、専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。

認定看護師とはどのような資格ですか？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師審査に合格することで取得できる資格です。

審査合格後は、認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。2019年11月現在で、21,048人の認定看護師が全国で活動しています。

認定看護師は、どのような活動をしているのですか？

患者・家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質向上に努めています。

認定看護分野には、どのようなものがありますか？

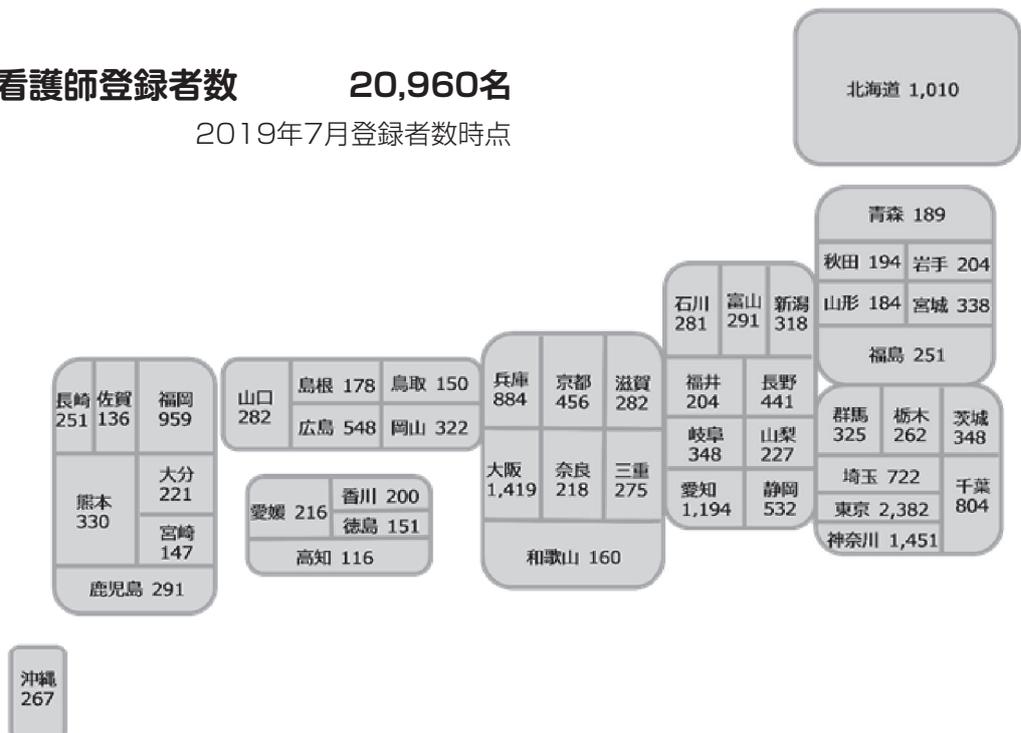
21の分野が認定看護分野として特定されています。認定看護師登録者数21,048人のうち、東京都の登録者数は2,406人となっています。（下図は、東京都の登録者数 / 全国登録者数）

救急看護	133人 / 1,329人	皮膚・排泄ケア	285人 / 2,544人
集中ケア	185人 / 1,217人	緩和ケア	257人 / 2,477人
がん化学療法看護	173人 / 1,650人	がん性疼痛看護	84人 / 775人
訪問看護	132人 / 659人	感染管理	299人 / 2,923人
糖尿病看護	115人 / 913人	不妊症看護	41人 / 181人
新生児集中ケア	53人 / 433人	透析看護	47人 / 272人
手術看護	72人 / 653人	乳がん看護	44人 / 373人
摂食・嚥下障害看護	90人 / 938人	小児救急看護	44人 / 267人
認知症看護	166人 / 1,587人	脳卒中リハビリテーション看護	77人 / 773人
がん放射線療法看護	20人 / 323人	慢性呼吸器疾患看護	34人 / 325人
慢性心不全看護	55人 / 436人		

2019年11月18日現在

都道府県別認定看護師登録者数 20,960名

2019年7月登録者数時点





厚生中央病院では、6分野7名の認定看護師が活動しています。



がん性疼痛看護認定看護師

山崎 順子

がんの診断を受けた方が体験される身体のつらさを、「痛み」だけでなく、心理面や社会面の影響を含めて考え、患者さんにとっての最善の対処方法を提案しています。ココロとカラダのバランスを保って治療に臨めるよう、またその人らしさを大切にして、生活を続けていけるよう、専門知識と技術を持って、がん治療の経過をサポートしています。患者さんご家族には気持ちをお話せる相談者が必要です。ぜひご相談ください。

緩和ケア認定看護師

福嶋 めぐみ

緩和ケアは、その人らしく生活が過ごせるように支援させていただくことです。緩和ケアというと治療ができない状態を想像するかもしれませんが、現在は治療と並行して行うことがWHOから宣言されています。そのため、患者さんの体験していることに目を向けて、その人が感じている体の辛さ、心の辛さが和らぐように支援していきたいと考えています。患者さんが大切にしていることを大切にして、主に病棟で活動しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師

高島 絵理子、盛 松美

私達は、以下の3つのケアを中心に活動しています。
①創傷ケア：傷や床ずれを治すための処置の方法を考え、それを軽減するための体の向きや動かし方の指導もしています。②オストミーケア：人工肛門がある患者さんが日常生活を送るために必要なケアの方法を教えています。③排泄ケア：膀胱留置カテーテルを抜いた後に失禁などの困った症状がないか相談にのっています。また、看護師への勉強会や地域の方へ講演会も行っています。

がん化学療法看護認定看護師

山本 幸美

がん化学療法を受ける患者さんは、治療や副作用によっておこる身体的な苦痛があり、社会生活をおくるうえで、様々な不安や疑問を抱いています。そのため、実際の抗がん剤の投与が「安全・安楽・確実」に行われるように管理し、その上でそれぞれの生活背景にあった副作用管理を自己で行えるようにサポートしています。また、患者さんご家族が治療や生活をどうしていきたいかと考える支援もしています。

糖尿病看護認定看護師

大久保 直樹

糖尿病の最大の治療の目的は「合併症の阻止」です。有名な合併症は「神経障害」「網膜症」「腎症」です。そのため、血糖値の改善だけではなく、脂質や血圧の管理も必要です。糖尿病外来では、この3つの合併症の阻止と進行防止に努めるとともに、患者さんの日常生活や検査データから療養生活のサポートをしています。健康診断などで、「血糖値が高い」と指摘された方は、ぜひご相談ください。

感染管理認定看護師

佐々木 圭子

患者さんやそのご家族、医療従事者、そして病院にいるすべての人たちを感染から守ることを目標に活動しています。具体的には、職員への感染防止対策の教育や指導、感染症の発生状況を把握し感染拡大を最小限にするための調査（サーベイランス）です。また感染症流行時期の予防行動の啓蒙活動、抗菌薬が正しく使用されているかの調査、なども行っています。縁の下の力持ちという立場で、病院内の感染予防に日々努めています。

kohseichuo.jp

MR I 装置を 更新いたしました！

令和元年9月MRI装置を更新いたしました。

《 新装置 》

PHILIPS社製1.5T MRI装置『 Prodiva 1.5TCX 』
フィリップス社の最新アプリケーションを搭載

☆In-Bore Solution*

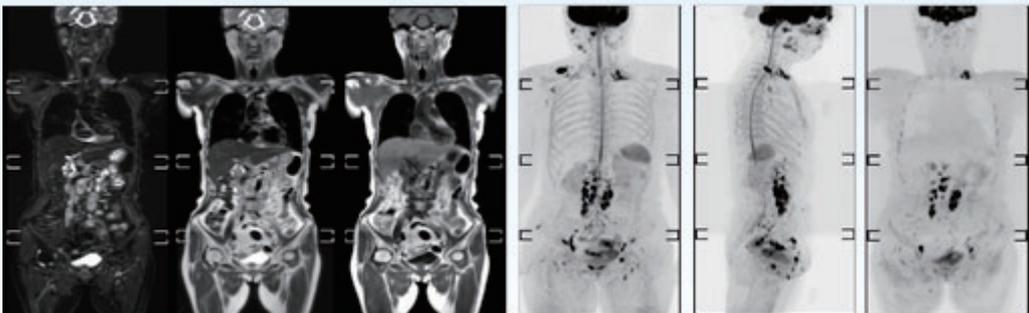
映像と音楽による新しい検査環境を提供

患者様を中心に考えた新しいソリューションで、映像と音楽の組み合わせにより、MRIの検査環境を向上させるシステムです。さらに新しい静音化技術で快適性を追求しています。



☆DWIBS

DWIBSは、従来の急性期脳梗塞の診断に用いられてきたDWIを、体幹部のがん検査に応用した撮像法です。病変を強調することが可能であるため、病変の位置、大きさ、分布などが判りやすいという特徴を有しています。転移の有無を調べる全身スクリーニングへの応用に期待されています。



提供：PHILIPS



総合
病院

厚生中央病院

月曜日～金曜日 9：00～17：00/土曜日 9：00～14：00 → 地域連携広報室…03-3713-2141
診療内容、予約時間等お気軽にご相談ください！！